数物情報科学科 AP

数物情報科学科は、数学、物理学、情報科学、およびそれらの複合領域を学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力と表現力を養い、専門知識と科学的な思考力を活かして社会で活躍する人物を育成することを目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

・数学、物理学、情報科学またはそれらの複合領域を深く学びたいという意欲のある人
・数学、物理学、情報科学を軸としつつ、理系の様々な学問領域に幅広い興味を持つ人
・数学、物理学、情報科学に関する「実験」、「実習」、「演習」などの実践的な学修と研究を面白いと感じ、その重要性を認識している人
・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
・科学的な知識・技術や考察力を身につけ、社会で活躍したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

・数学、理科、情報の十分な基礎学力
・英語の読解力
・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識や思考力を身につけているかどうかを、論理的に記述する力を加味して、判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、数学、理科、外国語（英語）における基礎的な知識や思考力を身につけているかどうかを、論理的に記述する力を加味して、判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）
　英語外部試験を利用して英語の４技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により、数学、理科における基礎的な知識や思考力を身につけているかどうかを、論理的に記述する力を加味して、判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型））
　大学入学共通テストの外国語（英語)、数学（２科目）に加え国語・理科・情報のうち 1 科目の計４科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期５科目型））
　大学入学共通テストの外国語（英語)、国語、数学（２科目）に加え理科・情報から１科目の計５科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（後期））
　大学入学共通テストの外国語（英語）に加え国語・数学・理科・情報から２科目の計３科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

(2) 総合型選抜
　総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて基礎的な知識の修得を判定し、小論文にて論理的な表現力を見る。さらに、口述試験では数学または物理または情報の基礎的な学力、他者に伝える力、主体性などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜
　高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを伝える力、および主体性を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）
　日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（指定校制／連携校）

本学科が指定する高等学校（指定校／連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験（口述試験）によって総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（公募制）

高等学校長が推薦する人を対象に、小論文にて論理的な表現力を判定し、口述試験にて数学、物理、情報の基礎的な学力、他者に伝える力、主体性などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(4) 外国人留学生

日本留学試験の日本語、数学、理科（物理）の 3 科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかどうかを判定する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、他者に伝える力、および数学、物理、情報に関する基礎的な知識と思考力を有しているかどうかを審査し、総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、数学または物理の筆記試験を行い、大学 2 年次もしくは 3 年次に相当する専門的な知識を有しているかどうかを審査する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、他者に伝える力、および数学、物理、情報に関する基礎的な知識と思考力を有しているかどうかを審査し、総合的に判定する。